

【主な意見】懇談テーマ新しい福島県総合計画とSDGsについて※第5章を除く

No	地域	発言者	意見等	分野
1	県北	意見発表者	地域をしっかり支えていくためには、人づくりが大切。平等な教育を提供するだけではなく、強いリーダーを育てる環境も必要だと感じている。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
2	県北	意見発表者	本県が、SDGsの18番目として、「複合災害からの復興」を前面に掲げ、国際的にメッセージを発信していくのであれば、大いに賛同したい。国連世界観光機関がSDGsを強く意識した観光地域への誘客に力を入れており、この取組も活用し、国際的なMICEを積極的に取り込んでいきたい。	SDGs
3	県北	意見発表者	県の人口ビジョンは、「2040年の人口は150万人を維持」としているが、これは少子化が前提の、移住政策等人口増加の政策を実施したうえでの数値目標であるのか伺いたい。 また、「人口の社会増減」の目標が達成される前提で、自然減がかなりの数値を占めると見るべきか伺いたい。	第2章 福島県を取り巻く現状と課題
4	県北	意見発表者	高齢者が働けるうちは働く社会づくりを考え、技術や経験を持っている高齢者の働く場づくりへの配慮が必要。 また、「安定的な雇用者数」には、高齢者は見込まれているのか伺いたい。	第4章 政策分野別の主要施策 しごと
5	県北	意見発表者	産み育てるなら福島県となるためには、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」の各施策は少子化対策の要であり、福島県の未来を左右するものとして、重点的に推進してほしい。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
6	県北	意見発表者	食物生産の現場を見聞きして苦労などを知ることができる、教育旅行の推進に積極的に取り組んでほしい。各自治体に担当セクションを設け、県全体を挙げて福島県の魅力をPRしてもらいたい。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
7	県北	意見発表者	以前実施されていた「ほっとする、ふくしま」新農業人応援事業や、新規就農者研修支援事業のような、新規就農者の知識や栽培技術、技能の基盤構築のための財政支援をしてほしい。	第4章 政策分野別の主要施策 しごと
8	県北	意見発表者	「合計特殊出生率」について、コロナ禍で少子化のスピードが8年ほど加速したといわれていることを考慮し、出生数や婚姻数などを再検証したほうが良いのではないかと。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
9	県北	意見発表者	結婚できない理由として若者の低所得が挙げられる。福島県の若い世代の給料所得についてしっかりと調査し、低所得の問題等も検討すべき。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
10	県北	意見発表者	子育て世代包括支援センターの活用状況を把握したうえで、居心地の良いものとなるよう機能を充実させ、若い世代が安心して子どもを産み育てられる環境をつくる必要がある。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
11	県北	意見発表者	福島県の未来を担う若者たちに、安心して子どもを産み育てられる社会をつくるため、SDGsに囚われすぎることなく、現在の状況や県内の若者の実態をデータ化して正確に把握することが必要。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
12	県北	意見発表者	現状で子育て世帯のほとんどが、母親によるワンオペ育児となっており、男性の子育てへの理解不足が原因と思われる。ジェンダー格差の解消についてもしっかりと考えた、少子化対策の政策を検討すべき。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと

13	県北	意見発表者	総合計画の推進体制について、「計画の認知度向上やSDGsを入り口とした連携、協働の場の創出により、共感の輪を広げ、将来の姿を実現する」ため、また、「県づくりを自分事として、みんなでつくる」ために、総合計画を知って触れて考えてもらう機会を創出する取組に期待したい。	総合計画の周知・広報
14	県北	意見発表者	子どもに何か起きたとき、何か困ったときの相談窓口が多様にあり、混乱を招くもとなつている。また、相談先ごとに答えが違うことで、母親の戸惑いや相談先への不信につながっていると感じている。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
15	県北	意見発表者	適応障害の診断に至らない、いわゆるグレーゾーンで、不登校となっている子どもたちの居場所がない。そういった子どもたちの通う教室等、「第3の居場所」をさらに増やしてもらいたい。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
16	県北	意見発表者	養育・子育ての意識が低い世帯において、携帯代等への支出が優先され、子どもの衣食に大きな影響が生じている。フードバンクの食材を利用した子ども食堂等、地域で子どもを育てられる環境があればと考えている。	第4章 政策分野別の主要施策 ひと
17	県北	意見発表者	GAPについて、取得すれば様々な利点はあるものの、県からの補助がなければ継続していくことは難しい。また、毎年申請しなければならない事務的負担が非常に大きく、改善を検討してほしい。	第4章 政策分野別の主要施策 しごと
18	県北	意見発表者	ドローンの資格を得て、除草剤散布等の作業を受託することで副収入を得る方法もある。資格取得への支援等による、スマート農業拡大の方向性もあるのではないかと。	第4章 政策分野別の主要施策 しごと
19	県北	審議会委員	SDGsの理念を計画の中心に入れたからには、全ての団体、企業、個人も同じ目標に向け、一緒に変わっていきましょうというメッセージを県が繰り返し発信し、かつ、県は率先して変わっていくべき。	第3章 みんなで創り上げるふくしまの将来の姿
20	県北	審議会委員	我々が享受している豊かな暮らしや安心安全な社会は、多様な担い手により成立している。これを持続可能な形としていくための在り方についても議論してほしい。	第4章 政策分野別の主要施策 暮らし
21	県北	意見発表者	教育旅行の指標について、令和4年の目標値が4, 100校であるが、1日10校以上も来ることとなる。どこから来て、どこに受け入れている教育旅行があるのか、里山にとっての経済効果を得るための参考に伺いたい。(要データ提供)	第4章 政策分野別の主要施策 しごと

【主な意見】懇談テーマ新しい福島県総合計画とSDGsについて(第5章)

No	地域	発言者	意見等	分野
1	県北	意見発表者	県北地域の地域産業、地場産業と言えるものがほしい。雇用の確保が、何より重要であり、県北地域の基幹産業である農業と、商工業が一体となり、新たな産業を創出できるとよい。	第5章 地域別の主要施策
2	県北	意見発表者	大型商業施設の集客力を利用して、人の流れを自分たちの地域へ引き込むため、色々なイベントの開催や環境の整備により、地域が魅力を高めていかなければならないと思う。	第5章 地域別の主要施策
3	県北	意見発表者	ふるさと納税を増やすことに成功した、市や協力団体のノウハウについて、風評払拭や復興の証しを全国に届ける意味でも、できるだけ多くの自治体に展開していきたい。	第5章 地域別の主要施策
4	県北	意見発表者	桃を様々な形で使った桃クラスターを形成し、桃のビジネス化による経済波及効果、相乗効果を出していきたい。	第5章 地域別の主要施策
5	県北	意見発表者	活火山についても、県北地域の災害の一つと認識しておくべき。	第5章 地域別の主要施策
6	県北	審議会委員	MICEの誘致等、企業も含めた来訪者を増やす取組や、イノベ構想に関わる研究者も含めた人の流れにうまく県北地域を連動させ、多様な交流をしていくべき。	第5章 地域別の主要施策
7	県北	審議会委員	相馬福島道路により経済圏が大きく広がったことを意識し、福島イノベーション・コースト構想の様々な分野で、県北地域と浜通り地域等の企業が連携するような取組により、人材確保の流れを作るべき。	第5章 地域別の主要施策
8	県北	意見発表者	梁川高校では基本的な内容からの学び直しに先生方が力を入れており、生徒たちが非常に安心した気持ちで学べる場がある。このような環境を統合後も存続させてもらいたい。	第5章 地域別の主要施策
9	県北	意見発表者	新規就農者の参入のハードルが非常に高く、特に、現在親が行っている農業を家族が引き継ぐ、親元就農では何ひとつ補助が出ないため、支援をお願いしたい。	第5章 地域別の主要施策
10	県北	意見発表者	SDGsの観点における環境保全という面も考慮し、県北地域特有の、中山間地域に根差した小規模農家に対する支援を検討してもらいたい。また、資材高騰により、ハウスの建て替えがほとんどできない。既存の農家への中長期的支援も大切だと考えている。	第5章 地域別の主要施策
11	県北	審議会委員	福島で環境問題や地域の課題、農業や観光のあり方について議論をすることが、各国のSDGsに理解がある組織や地方政府がにとつてのブランディングになるような、5年、10年後の未来を目指し、MICE機能の強化を県北地域を中心に進めるべき。	第5章 地域別の主要施策
12	県北	意見発表者	計画を推進する上で、県境付近が取り残されることがないように、取り組んでもらいたい。道路は重要なインフラであるが、例えば国道-349号線で、県境近くの道路整備がなかなか進まない。また、宮城県側との比較でも差を感じているため、しっかりと進めていくべき。(※県北・道路に限った話ではない)	第5章 地域別の主要施策